

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ ◎ :警報レベル

○ :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第11週	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	50976 10.33	560 ○11.67	407 8.48	▼	174 8.70	145 7.25	▼	40 8.00	36 7.20	▼	184 ◎18.40	146 ◎14.80	▼	162 ○12.46	80 6.15	▼	9336
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	690 0.22	11 0.37	7 0.23	▼	1 0.08	6 0.46	△				10 1.67	1 0.17	▼				56
咽頭結膜熱	1224 0.39	8 0.27	5 0.17	▼	5 0.38	1 0.08	▼				2 0.33	1 0.17	▼	1 0.13	3 0.38	△	90
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8188 2.6	202 6.73	138 4.60	▼	118 ◎9.08	90 ◎6.92	▼				27 4.50	19 3.17	▼	57 7.13	29 3.63	▼	1852
感染性胃腸炎	18275 5.8	74 2.47	87 2.90	△	34 2.62	55 4.23	△		2 0.67	△	26 4.33	19 3.17	▼	14 1.75	11 1.38	▼	1263
水痘	1178 0.37	16 0.53	35 1.17	▲	4 0.31	6 0.46	△	7 2.33		▼	1 0.17	1 0.17		4 0.50	28 3.50	△	196
手足口病	358 0.11	1 0.03		▼	1 0.08		▼										22
伝染性紅斑	229 0.07	1 0.03	12 0.40	△		1 0.08	△				1 0.17	11 1.83	△				38
突発性発しん	1368 0.43	21 0.70	15 0.50	▼	3 0.23	3 0.23			3 1.00	△	11 1.83	5 0.83	▼	7 0.88	4 0.50	▼	202
百日咳	27 0.01	1 0.03		▼	1 0.08		▼										4
ヘルパンギーナ	70 0.02																16
流行性耳下腺炎	1940 0.62	20 0.67	22 0.73	▲	6 0.46	7 0.54	▲	3 1.00	1 0.33	▼	11 1.83	12 2.00	△		2 0.25	△	295
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	8 0.01																
流行性角結膜炎	315 0.46	7 0.88	8 1.00	△	7 1.75	7 1.75			1 1.00	△							31
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	278 0.59	3 0.30	3 0.30		3 0.75	3 0.75											11
クラミジア肺炎	5 0.01																
マイコプラズマ肺炎	135 0.28	4 0.40		▼	3 0.75		▼							1 0.33		▼	52
細菌性髄膜炎	10 0.02																1
無菌性髄膜炎	19 0.04	1 0.10		▼										1 0.33		▼	3

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
麻しん	患者	1		12	1	麻しん含有ワクチン接種歴:1回 3件、不明 10件、無し 1件。
				1		※第11週追加報告分。麻しん含有ワクチン接種歴:1回 1件。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1				※第11週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴1回有り。
播種性クリプトコックス症	患者		1			※第11週追加報告分。

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	2	4	26	21	27	34	28	16	23	23	19	90	14	6	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	18	12	18	7	9	10									407
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		4	1	2											7
咽頭結膜熱			3	1		1									5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	7	11	15	21	19	17	16	7	12	1	6	138
感染性胃腸炎	1	4	15	20	5	10	8	9	2	2	4	7			87
水痘		2		2	3	7	8	7	4			2			35
手足口病															
伝染性紅斑					3	4	3		2						12
突発性発しん		4	9		1	1									15
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎			1	1	3	3	4	2	3	1		4			22

<平成29年2月 月報>

2017年3月15日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県)
	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 18	16	5	4	8	4		3	5	5	34
	定点当り 1.80	1.60	1.25	1.00	8.00	4.00		1.50	1.67	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 8	5	2	3	3	1	2		1	1	13
	定点当り 0.80	0.50	0.50	0.75	3.00	1.00	1.00		0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 1		1								1
	定点当り 0.10		0.25								
淋菌感染症	報告数 4	1	1						3	1	5
	定点当り 0.40	0.10	0.25						1.00	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 8	8	1		2	1	1	1	4	6	16
	定点当り 0.80	0.80	0.25		2.00	1.00	0.50	0.50	1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 18	15	7	4	1		1	3	9	8	33
	定点当り 1.80	1.50	1.75	1.00	1.00		0.50	1.50	3.00	2.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1								1	1
	定点当り	0.10								0.33	

<トピックス>

【インフルエンザ情報】

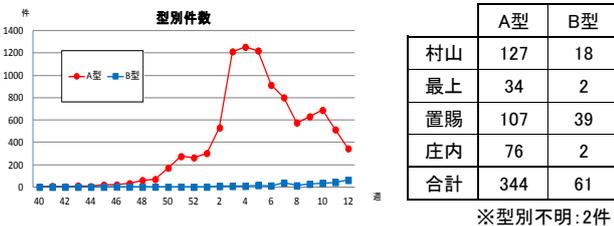
インフルエンザの県全体の定点当たり報告数は8.5人で、注意報レベルの基準値を下回りました。

置賜地区の警報レベルは継続中です。

(警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人注意報基準値:10人)

1 定点医療機関情報(第12週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数



2 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第12週)

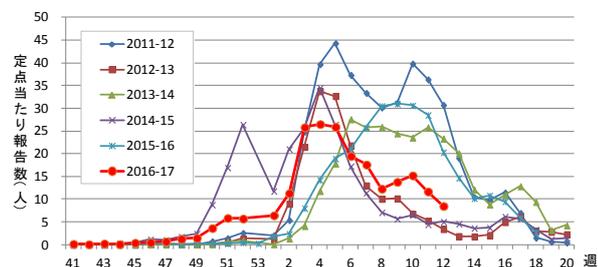
村山地区:2施設(福祉施設2)

最上地区:1施設(福祉施設1)

置賜地区:1施設(幼稚園・保育所1)

庄内地区:2施設(幼稚園・保育所1、福祉施設1)

3 定点当たり報告数の推移(過去5シーズンとの比較)



【麻しん(はしか)情報】

第12週に、麻しんの患者14人の報告がありました。

今年の県内の累積患者数は、18人です。

麻しんとは

麻しんは麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強く、免疫を持たない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染し発症すると一生免疫が持続すると言われています。

【症状】感染後に潜伏期10～12日を経て発症します。初期症状は発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、口腔内に白い粘膜疹(コプリック斑)が出現することがあります。その後、39℃以上の高熱と赤い発疹が出現し、全身に広がります。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人程度で脳炎が発症すると言われています。

【予防法】麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しんの予防接種が最も有効な予防法といえます。また、麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻疹ワクチンの接種をすることで、発病の防止、症状の軽症化が期待できます。

麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)の定期接種が済んでいないお子さんは、早めに接種を受けましょう。また、麻しんにかかるリスクの高い方(医療従事者や学校関係者・保育福祉関係者など)、流行国に渡航を計画されている方は、ワクチン接種歴を確認し、未接種未罹患の場合は早めの接種をご検討ください。

定期予防接種の対象年齢(無料で受けられる期間)

- 第1期:生後12か月から生後24か月未満
- 第2期:小学校入学前年の1年間

※参考URL:厚生労働省 麻しんについて

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html